

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 医療的ケア	授業の種類 講義	授業担当者 澤田 美奈子	
授業の回数 35 コマ	時間数 (単位数) 70 時間	配当学年・時期 1 年後期～2 年後期	講師の実務経験 (有) ・ 無
[授業の目的・ねらい] ・ 医療的ケア実施の社会背景を理解し、チーム医療を担う一員であることを自覚する。 医療倫理を遵守し、安全・安心な医療的ケアを実践できるようになる。			
[授業全体の内容の概要] ・ 医療的ケアを行う際の人間の尊厳の厳守・倫理観の確立と医療行為に関する他職種との連携を理解する。 ・ 医療的ケアにおける身体の解剖・生理・感染予防を意識した知識・技術を習得する。			
[授業修了時の達成課題 (到達目標)] ・ 介護福祉士が医療的ケアの実施に至った経緯が分かる。 ・ 呼吸器・消化器の解剖生理が理解できる。 ・ 医療的ケアの安全・安心な手技の理解ができる。 ・ 急変時の対応について理解ができる。 ・ 正しい報告と記録ができ、医療を担う一員であることを自覚できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1 医療的倫理の理解 2 医療行為に関する法律とその変遷 3 安全な痰吸引・経管栄養を提供する重要性 4・5 感染予防 6・7 健康状態を知る項目 (バイタルサイン) 8・9 救急蘇生法 10 身体・精神の健康とは 11 消化器系のしくみとはたらき 12 経管栄養とは 13 注入内容に関する知識 14 経管栄養実施時の留意点 15 こどもの経管栄養について 16 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 17 急変・事故発生時の対応と事前対策 18 経管栄養で用いる器具機材とそのしくみ 19 経管栄養における感染対策 20・21・22 経管栄養の技術留意点 23 経管栄養に必要なケア 24 報告及び記録			

<p>25 呼吸のしくみとはたらき</p> <p>26 いつもと違う呼吸状態</p> <p>27 喀痰吸引とは</p> <p>28 人工呼吸器と吸引</p> <p>29 子どもの吸引について</p> <p>30 呼吸器系の感染と予防</p> <p>31 痰吸引により生じる危険、事後の安全確認</p> <p>32 急変・事故発生時の対応と事前対策</p> <p>33・34 吸引の技術と留意点</p> <p>35 報告及び記録</p> <p>36・37・38・39 経管栄養演習</p> <p>40・41・42・43 吸引演習</p>	
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>医療的ケア（中央法規出版） カンタン 救急蘇生法（学研）</p>	<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>定期試験及び授業態度、出席率を加味し、総合的に評価する。</p>